基本方針 1

「自分を、まわりの人を大切にする力」を育む

自他のよさをともに認め合える人間力を養う教科書

心が動く教材から、豊かな学びが広がる― 魅力あふれる多彩な教材

子どもたちと先生が「考えたくなる」「話し合いたくなる」教材が、充実した授業の第一歩。
たくさんの先生方の意見をもとに、魅力的な教材を豊富にご用意しました。

新教材　個性の伸長

6年 p.62－65 「14 貝塚博士」

新教材　感謝

2年 p.148－151 「34 ハッピー・バースデー」

「個性の伸長」と「感謝」の教材で

自己肯定感 UP

ありのままの自分を見つめ、自分のよさに気づく。自己肯定感の涵養に関わって、「個性の伸長」と「感謝」の項目を重視し、新しい教材を増やしました。

「個性の伸長」「感謝」の新教材

個性の伸長
- 5年「14　ことばのカタチ」
- 6年「14　貝塚博士」

感謝
- 2年「34　ハッピー・バースデー」
- 3年「14　王様のサンドイッチ」
- 5年「29『ありがとう』がつながる」
- 6年「34　アスリートの言葉」

新教材　国際理解・国際親善

4年 p.18－23 「4 ブルラッシュ」

新教材　よりよく生きる喜び

6年 p.168－175 「35 ゴゴ　九十四歳の小学生」

教科書QRコンテンツでは、映画のワンシーンを視聴でき、教材の世界を広げます。

教科書ＱＲコンテンツ➡p.20・21

『生きる力』は、高学年に、「よりよく生きる喜び」の内容項目の教材を最終教材として配置しています。
6年では、新たに映画「ゴゴ　九十四歳の小学生」を教材化。6年間の学びを総まとめする教材として最後に配置。中学校へと橋渡しします。

ほかの よりよく生きる喜び の教材

5年「1　のび太に学ぼう」
5年「35　かぜのでんわ」
6年「19　生きることをあきらめない」

基本方針 1

「自分を、まわりの人を大切にする力」を育む

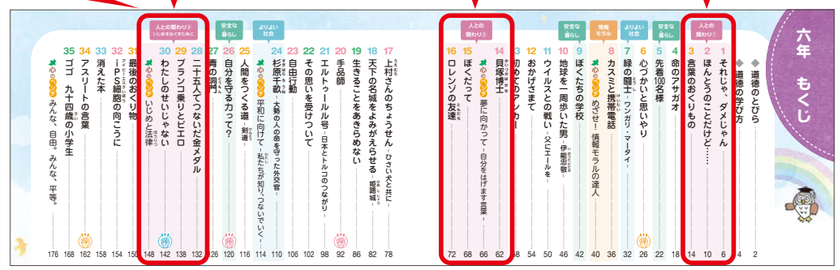
絶対に、いじめをしない、させない、見過ごさない― いじめ防止ユニット「人との関わり」

誰ひとりとして、いじめで傷つくことがあってはなりません。繰り返し、しっかりといじめについて考えることができるようにしました。

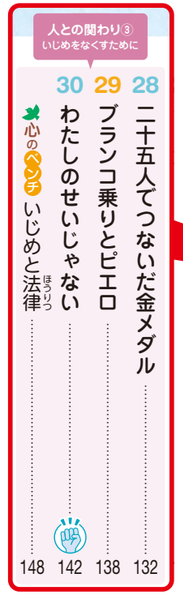
年間３回のいじめ防止ユニット 人との関わり

いじめを**「間接的に扱った教材」**、いじめを**「直接的に扱った教材」**、**いじめ防止コラム**を組み合わせ、いじめについて集中的に学習する**「人との関わり」**ユニットを、年間３回、設定しています。

［６年の例］

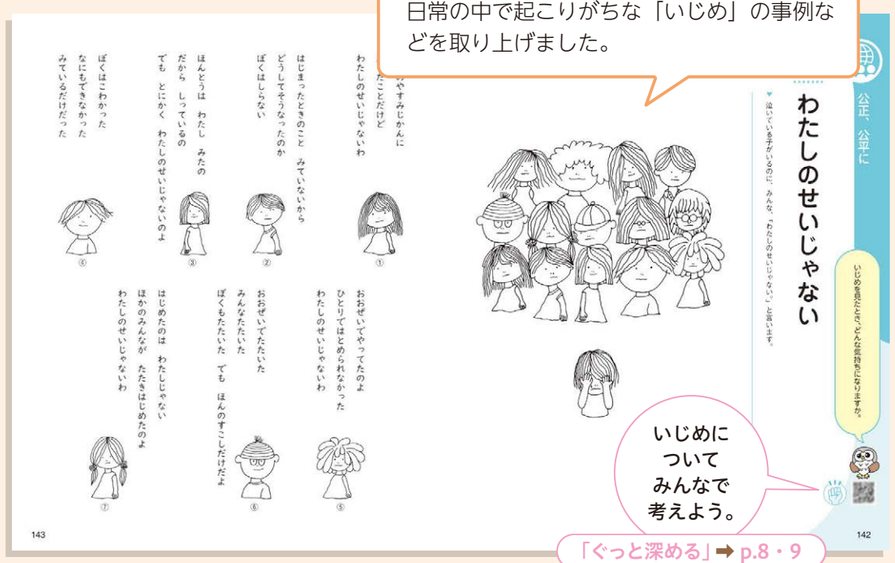


6年 表見返し－p.1 もくじ



いじめを「直接的に扱った教材」

日常の中で起こりがちな「いじめ」の事例などを取り上げました。



いじめについてみんなで考えよう。

「ぐっと深める」➡ p.8・9

6年 p.142－147 「30 わたしのせいじゃない」

いじめを「間接的に扱った教材」

「いじめ」を許さない心を育てるために考えたいことを取り上げました。

6年 p.132－137 「28 二十五人でつないだ金メダル」

6年 p.138－141 「29 ブランコ乗りとピエロ」

6年 p.148－149 心のベンチ「いじめと法律」

文部科学省の「子供のSOSの相談窓口」にリンクしています。

いじめ防止コラム

いじめを「しない、させない、見過ごさない」ために大切なことを知ったり、考えたりすることができるコラムです。

心のベンチ いじめ	1年	2年	3年	4年	5年	6年
	なかなおり	ふわふわちくちく	心の声に耳をかたむけて	なくそう！いじめ	いじめは止められる！	いじめと法律

「心のベンチ」➡ p.10・11

いじめを未然に防ぐ

いじめと子どもの自己肯定感は大きく関係しています。いじめ防止ユニット「人との関わり」では、子どもたちの人間関係形成への意識づけと、自己肯定感の向上を図ります。

自己肯定感 UP